

# Living the LOTUS



Buddhism in Everyday Life

3  
2018

VOL. 150

開祖隨感

## 実行できるように説く

仏教の教えは、難しい理論として説くのではなく、だれにも分かるように説くことがいちばん大事です。分かりやすくというのは、毎日の生活の中でだれもが実際に実行できるように説いてあげることです。それを聞いて、教えられたとおりに実行してこそ、教えのすばらしさが体験としてつかめます。

自分が実際に体験したことは、信じないでいられません。そして、心の底から信じてしまうと、必ず結果が出ます。それを人さまに教えてあげずにいられなくなります。すると、聞いた人が次から次へ結果をいただくようになるのです。

みなさんが求めていること、本当に聞きたいことを話してあげれば、だれもが身を乗りだし、全身を耳にして聞いてくださいます。仏教の教えによるご利益、功徳をみんなが頂戴できるように、といいう一心で話させてもらうと、人がどんどん集まってくれるのですね。

こっちの言いたいことだけで、人が聞きたくもないことを滔々とうとうとしゃべって、相手の欲しいものは何も与えないという説法では、どんなにこっちが力んでも、人は動くものではありません。

(『開祖隨感』9 P. 130-131)

Living the Lotus  
2018年3月号 (Vol. 150)

【発行】立正佼成会 国際伝道部  
〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F  
Tel: 03-5341-1124  
Fax: 03-5341-1224  
E-mail: [living.the.lotus.rk-international  
@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

編集責任者: 斎藤高市  
編集チーフ: 金尾江利子  
校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之  
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑑会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

## 教団創立八十周年を迎えて—— 地域の人びとと 共に、幸せに

立正佼成会会长 庭野日鑛



### 多くの菩薩が住む街に

多くの方のおかげさまで、本会は今年、創立八十周年を迎えました。まだまだ浅い歴史ではありますが、そのなかで、いまから三十年前に、開祖さまは本誌でつぎのように述べています。

「究極の目標は世界人類の救済にあろうとも、あくまでも身辺のことをおろそかにせず、まず目の前の一人を救い、おのれの家庭を調べ、地域社会の浄土化へ進む」という、着実な歩みも忘れてはならない」(昭和63年3月号)

創立五十周年の年に示されたこの決意を、私は、節目の年を迎えて新たな一步を踏みだそうとするいま、あらためてかみしめています。

以前、私は「(地域の)みんなが幸せになることによって、私たち佼成会会員の幸せもある」と申しました。「地域社会の浄土化」とは、そこに住む一人ひとりが、自分の幸せだけではなく、地域の安寧やみんなの幸せという、いわば公のことに対する意識を向けながら、生活の一つ一つをおろそかにしないで明るい家庭を築いているということです。現実社会という娑婆も、こうして常寂光土となるのです。

開祖さまは、よく「地域のお役は喜んで受けなさい」ともいわれましたが、自分の住む地域のために力を尽くし、隣近所に困っている人がいれば寄り添い、悩みがあると聞けば話をよく聞かせていただく。そういう菩薩のような人がたくさん住む地域にしていくことが、みんなの幸せを願う私たちの理想ではないでしょうか。その意味でいえば、もし暗い表情をして沈んでいる人がいたら、その心に一灯を点じて笑顔をとり戻し、地域全体を明るく照らしていくのが信仰をもつ私たちの精進であり、役割だと思います。



## ぬくもりを家庭から地域へ

夕暮れの街を数時間、高台から撮影した映像を見たことがあります。日が落ちるにつれて一軒、また一軒と灯りがともり、やがて街全体が夕闇の底に明るく浮かび上がってくるのですが、地域に幸せが広がるというのは、もしかすると、この光景のようなものかもしれません。窓から明るい灯がこぼれ、凍つく夜も家のなかは笑顔とぬくもりにあふれている——そういう、だれもが帰りたくなるようなあたたかな家庭が、一軒ずつふえていくイメージです。

そして、その最初の一軒は、みなさんのご家庭です。家族がみんな仲よく、それぞれが敬いと親愛で結ばれて、心安らいでいる。『わが家』をそういう家庭にすることが、地域全体の幸せの始発点になるのです。

なぜなら、地域や近所の人のことを思うみなさんの気持ちは、たとえば道の掃き掃除をするときでも、自然に隣の家の前まで掃いておこうという行動となってあらわれるからです。散歩の際には、たとえ見知らぬ人であっても、元気に「おはようございます」「こんにちは」と、自分からあいさつをすることでしょう。そして少しづつ人と人との和み、自他の心が耕されていくことで、共に地域を照らす仲間——菩薩もまた少しづつ生まれるのだと思います。

また本会には、各地域に教会道場があります。信者のみなさんにとってのオアシスであるばかりでなく、どなたにとっても身心が休まる場所であることが望まれます。ただ、それには私たちが率先して地域にはたらきかけることが大切です。「出入口」という言葉が示すように、まずこちらから一步を踏みださなければ、入ってきてはいただけないです。そのことを踏まえ、ぜひ地域のみなさんと一つになって、街全体をオアシスのようにしていただきたいと思います。家庭の幸せを始発点として、地域のみんなが仲よく過ごすことは、大きな平和への一步でもあるのです。

(『佼成』2018年3月号)





## すべてを仏さまのお慈悲と受け止め、感謝の心で生きる



台北教会  
陳忠厚

この体験説法は、2017年12月25日に台北教会で行なわれた光明燈謝燈式で発表されたものです。

皆さま、よろしくお願ひいたします。

本日は光明燈謝燈式の佳き日に体験説法の大役をいただき、誠にありがとうございます。

私は1950年11月5日、台湾南部にある屏東という小さな町で、5人兄弟の長男として生まれました。家は貧しく、農業を営んでいた両親は、子どもたちを育てるため、毎日、日が昇る前に家を出て、日が落ちて家に戻るまで愚痴を言わず、労を惜しまず働いていました。長男の私は、両親の負担を軽くしようと、小学校2年生のときから薪でご飯を炊き、3年生からは、おかずを作れるようになりました。そして両親が仕事から帰ってすぐに温かい夕食を食べられるように準備をしていました。その後、私はアルバイトをしながら大学に通いました。

大学を卒業後、私は旅行会社に就職しました。1976年に同級生の紹介で現在の妻と知り合い、2



台北教会で体験説法する陳さん

年間の交際を経て1978年に結婚し、男の子を2人授かりました。仕事の関係で海外へ出張するが多く、子どもの教育は妻に任せきりでした。偶然、仕事の関係で台北教会の一粒種だった簡汝廉さんとお知り合いになれたのもその頃です。当時、台北法座所は東京の豊田教会に所属していて、毎回信者さんが日本へ教会実習に行かれるときは、私がお世話をさせていただきました。教会実習の中で、つねに人を思いやり、教会の基本信行を徹底して実践されている信者さんたちの姿に感動し、仏さまを恋慕し敬う心が自分の中にもあることを知りました。1984年に簡さんのお導きで佼成会に入会しました。簡さんは総戒名をお祀りすることを勧めてくださいましたが、妻や親族と話し合った結果、台湾では母方のご先祖さまをお祀りして供養する習慣がないため、総戒名のご安置はできないことをお伝えし、安置式をお断りしました。その後、私は教会に行くこともやめてしまいました。

それが原因だったのか、その後は仕事の上で自分の考え方や見方に執着し、物事の実態が見えなくなってしまい、大切な仕事のチャンスを逃してしまうことがたびたびありました。1986年、私は勤めていた旅行会社を退職し、自分で旅行会社を立ち上げましたが、業績は浮き沈みが激しく、私の収入も安定しませんでした。十数年間努力を続けても、経営はなかなか改善しませんでした。子どもたちが成長するにつれて、お金もかかるようになり、妻は家庭の経済状況に不満や愚痴をこぼすようになりました。

「結婚する相手を間違えた」と妻が話すのを聞いたときは悲しく、プライドが傷つきました。反省はするものの、私だってそれなりに努力してきたんだと思い、心中は穏やかではありませんでした。その苦しみを解決しようと、私は再び台北教会に通い、他の信者さんたちと一緒に修行を始めました。心のなかにある大聖堂のご本尊さまや開祖さまの暖かい笑顔への憧れが、私の修行の支えになりました。その後、教会长さんから「この宇宙は本来無常であり、絶対的な存在である仏・法・僧の三宝に深く帰依して、信仰心をしっかりと持ってすべてをお任せすれば、生活は改善しますよ」とご指導をいただきました。ご指導を実践させていただこうと、家族に対して和顔愛語で接し、思いやりの心で胸の内を聞かせていただきました。すると、妻の愚痴が徐々に減っていました。私の気持ちも楽になりました。

ある日、教会长さんから「台北教会の理事長のお役を受けていただけますか」と尋ねられました。私はどうしたらよいか迷いました。仕事を持つて働いている自分に、理事長のお役を受ける人徳があるだろうかと迷う反面、仏さまに近づくことができる喜びと、このお役のお話しを通して仏さまは私に何を教えてくださっているのだろうという想いから、理事長のお役をお受けすることにしました。

理事長のお役を拝命してからは、ほとんど毎朝教会に通って他の信者さんとともに修行し、午後は会社に出勤しました。すると、会社の業務は上向きになり、仕事はどんどん忙しくなりました。妻は私の代わりに仕事をしてくれていましたが、一人では忙しすぎて手がまわりきらないとこぼしていました。し

かし、私は相変わらず午前中は教会に通い、午後は仕事をする生活を続けました。そうしていれば必ず仏さまのご守護をいただけるから心配いらないと、妻には言いました。その間、教会勧請のご本尊をご安置させていただき、私と家族は勧請と先祖供養を通して、校成会の教えの意義を深く理解できるようになり、自宅のご宝前に両家のご先祖さまの総戒名をお祀りすることへの不安もなくなりました。

会社が成長するにつれ、顧客も増えました。ほとんどのお客さまは、ご自分から私の会社を見つけてくださった方がほとんどで、それ以前はお付き合いのなかった方もいました。仕事が多忙な時期には、さまざまな困難も経験しました。ある時、256名の大きな団体のために、全員が同じフライトで北海道に行くツアーを企画しましたが、航空会社に確認すると、満席のため24名分の座席が不足していました。ところが、出発の3週間前に不思議なことが起きました。航空会社から「ちょうど24名分のキャンセルが出ました」と連絡があり、私たちは予定通りに出発することができたのです。万事が順調でした。私と妻は目に見えない不思議な力に助けていただいていることを感じました。心配していた家庭の経済状態も改善し、妻の信仰に対する態度も変わり、私の心も明るくなりました。仕事を通じて、お客さまと善縁を結び、善果をいただきました。毎週土日は、妻も一緒に教会に通うようになり、ご宝前のお給仕をさせていただいてから、他の信者さんたちと一緒に読経供養と法座をさせていただき、皆さんと喜びや苦しみを分かち合っています。

理事長のお役をいただいた当初、たいへん重要

# Spiritual Journey

なお役に重圧を感じていました。そのため、毎朝3時頃に目が覚めて、疲れなくなりました。そこで、開祖さまの『新釈法華三部経』を読ませていただきました。ぼんやりしながらも読み始めて2か月が経ちました。心身ともに疲労し、当時は「どうして自分がこんなにつらい修行をしなければならないのか」と思い、お役を投げ出してしまおうかとも考えました。しかし、ふと「自分はどんな理事長になりたいのか?」と考えたとき、法華経の奥深さと素晴らしさに気づくことができ、以前よりしっかりした信仰を持てるようになりました。教会长さんのお導きで2016年に本部勧請のご本尊のお手配をいただきました。夫婦ともに教えを学んで朝夕のご供養と当番修行をし、基本信行の手取りもさせていただきました。

今年の10月21日、教会长さんから本部の教師資格者に推薦していただきました。しかし、本部での授与式に出発する前、突然、会社に税務関係の大きな問題が発生し、そんなときに教師資格をお受けして良いかどうか迷いました。教会长さんはご指導のなかで、「素直な心と態度で受け止め、信念を緩めず、仏さまのおはからいにまかせなさい」と励ましてくださいり、私自身も提婆達多品に「淨心に信敬し

て疑惑を生ぜざらん者は、……若し仏前にあらば蓮華より化生せん」とあるように、どんな困難に遭っても仏さまの教えに隨順して生きようと決心し、教師資格をお受けすることにしました。そのことを通し、すべてを仏さまのお慈悲ととらえ、ものごとに執着しないことの大切さを学びました。その結果、台湾に戻った後は、私を苦しめていた税務の問題も改善されていきました。

このたびの出来事を通して、物事が順調に進んでいるときのうれしさや楽しさも、逆境のなかで経験する悲しみや悩みも、すべては私を成長させるための仏さまのおはからいであったことを知り、私にとってたいへん貴重な学びの機会となりました。学びの中から成長させていただき、「たとえ傷ついても意に添わなくても、怒らない、愚痴を言わない。すべては仏さまのお慈悲なのだから、感謝の心で受け止めよう」と思えるようになった今の自分は、本当に幸せ者です。決して裕福ではありませんが、日々の幸せに満足し、感謝しています。

法華経には「仏の莊嚴を以て自ら莊嚴するなり」という一節があります。私も、自分の考え方や言動を自らすすんで改善し、柔軟な心で他人から信頼される人間になり、導きの子らとともに法華経を学んでいきたいと思います。そして、会長先生のご指導のもと、教師資格者としての自覚を持ち、合掌と尊敬の心で人々の内にある仏性を礼拝し、たくさんの善縁・善果を求めて基本信行を実践し、他の信者さんたちとともにこれからも成長させていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



法座に参加している陳さん(左端)



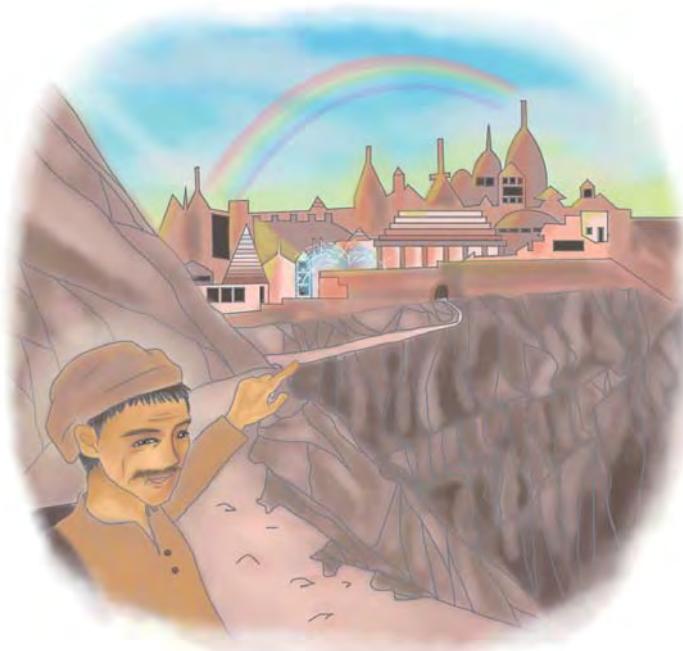
# The 7 Parables of the Lotus Sutra

化城宝処の譬え

妙法蓮華經 化城論品第七



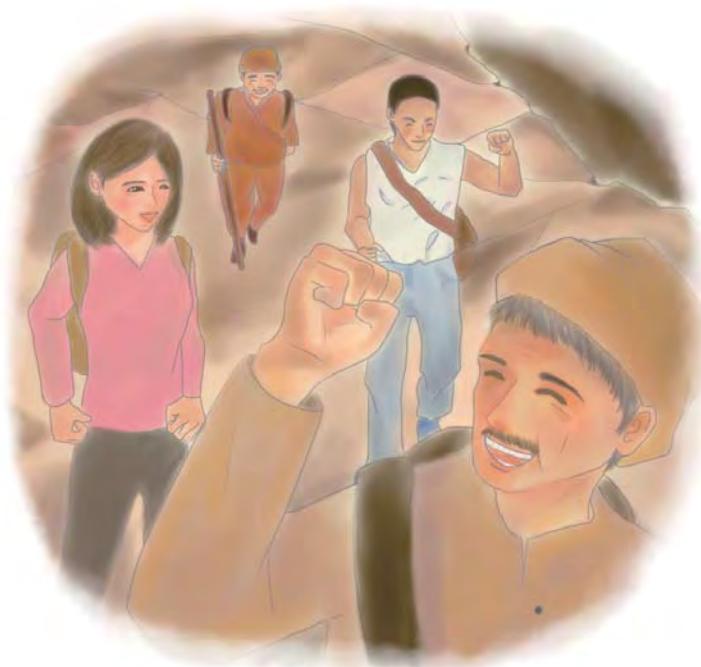
人里離れたあるところに、長くて険しい道がありました。たくさん的人が、貴重な宝を求めてこの道を歩んでいます。その一行の中に、一人の指導者がいました。その人は、知識が豊富で智慧にすぐれ、この道の先がどうなっているのかよく知っている人でした。



一同は、喜んでそこまで歩き、城の中で休息しました。しばらくして、皆の疲れがすっかり癒えたのを見た指導者は言いました。「さあ、行きましょう。宝のある場所はもうすぐそこです。この城は、皆さんと一緒に休みするために仮に作った城なのです」。元気になった一同は、再び宝に向かって歩きだしました。



長い道のりを旅してきた人々は、途中でくたびれてしまい、指導者に言いました。「私たちは疲れてこれ以上前に進めません。来た道を引き返そうと思います」。指導者はかわいそうに思い、道のりの半ばより少し向こうに、方便の力を使って、まぼろしの大きな都城を現しました。



## 解説

「長くて険しい道」とは、苦しみの多い人生を表しています。私たち衆生は、人生の本当の幸福という、「貴重な宝(仏の智慧)」を目指して旅をしています。私たちを導いてくれる指導者とは、仏さまのことです。

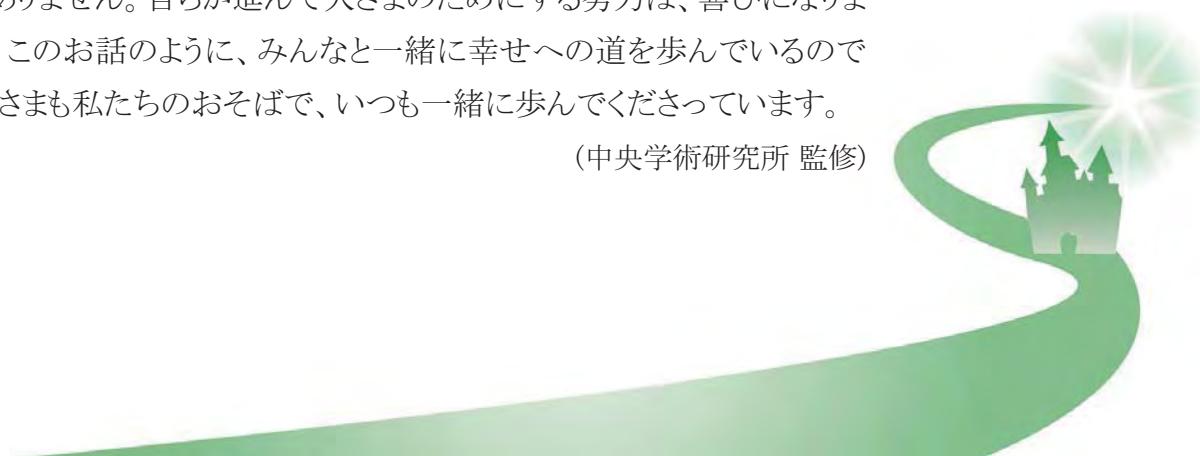
思い通りにならない人生を歩む私たちは、幸せを求めて修行しながらも、途中でくたびれてしまいます。人生の苦しみは次々に起り、絶えることはないからです。修行することに飽きたり、勇気を失ったり、あと戻りしたい気持ちが湧いてきます。

そこで、仏さまは、道のりの半ばより少し先に、まぼろしの都城を現しました。まぼろしの都城とは、二乗(声聞・縁覚)方便であって、私たちの現実の苦しみを取り除くための手段です。私たちの目指している本当の幸せ(宝)とは、実は仏の智慧なのですが、多くの人はそのことに気づいていません。ただ、現実の苦しみから逃れることに必死で、漠然と「幸せになりたい」と願っています。そこで、仏さまはまず、私たちに「縁起の教え」を説きました。「目の前に起こっているものごとは、固定的ではなく、仮の現れにすぎない。縁によって生じているだけである(つまり様々なものに執着している心を解放すれば、安らかな気持ちになれる)」という教えです。その教えを実践した人々は、まぼろしの城の中で休息したように、自由で安心の気持ちを得ることができました。

しかし、その心境にホッとしているところで、指導者はまぼろしの城を消してしまいます。そして、「もう少し先に、本当の幸せがあるのだよ」と指し示します。私たち人間の本当の幸せとは、自分だけの安心の境地で休んでいることではなく、周りの人を幸せにする生き方をすることです。自分だけの幸せの境地を捨てて、世の中全体の幸せのために、自分の力を發揮していく菩薩行を積み重ね、仏の智慧を得ること(一乗真実)こそ、本当の幸せへの道です。生きがいのある人生です。

化城を出れば、また新しい苦労が始まります。しかし、それは今までの受け身の苦しみではありません。自らが進んで人さまのためにする努力は、喜びになります。私たちは、このお話のように、みんなと一緒に幸せへの道を歩んでいるのです。そして、仏さまも私たちのおそばで、いつも一緒に歩んでくださっています。

(中央学術研究所 監修)



※解説は『法華經の新しい解釈』と『新釈法華三部經』(庭野日敬著)を参考にしています。



## お導きこそ、最高の親孝行！

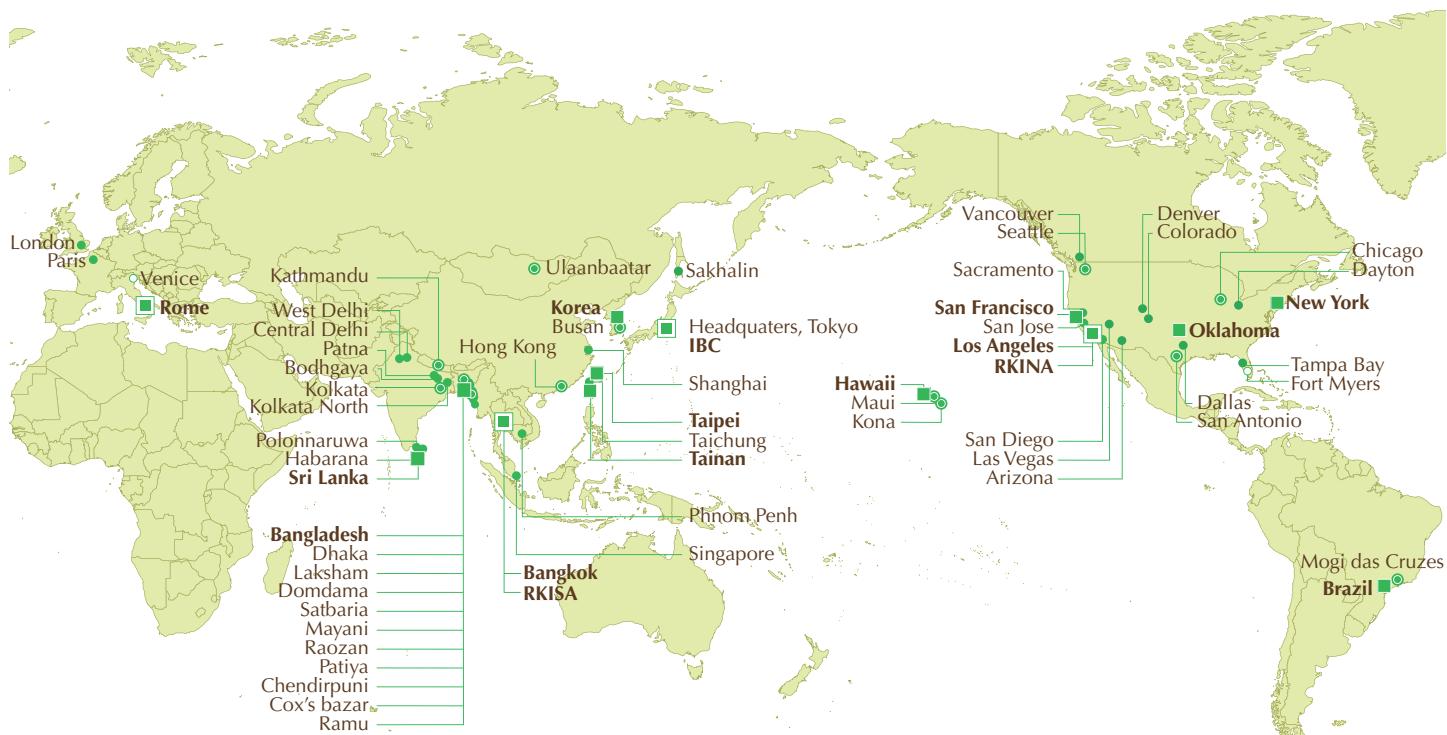
教団創立 80 周年の月を迎えていただきました。併せて、会長先生の満 80 歳のお誕生日も迎えさせていただきます！ますますお元気で私たちをお導きくださいますよう祈念させていただきましょう。

年頭の「御親教」のなかで、会長先生はお書き初めの「易簡」のお話をしてくださいました。何事も複雑にしないで、簡素に、自然に生きること。そして、天地自然をはじめ多くのお陰さま、縁起によって生かされていることを忘れずに生活することが大事であり、それを「易簡」に込められました。

80 周年にあたり、開祖さま、脇祖さまはじめ、多くの先輩へのご恩に報いることもお示しくださっています。布教伝道こそ、最高の親孝行です。精一杯、お導き修行をさせていただきましょう！

国際伝道部長

齋藤 高市



## RISSHO KOSEI-KAI INTERNATIONAL BRANCHES



Living the Lotus では、皆さんのご意見・ご感想を募集しています。

お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。

E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai Overseas Dharma Centers 2018

## Rissho Kosei-kai International

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan  
*Tel:* 81-3-5341-1124   *Fax:* 81-3-5341-1224

## Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First Street Suite #1 Los Angeles CA 90033 U.S.A.  
*Tel:* 1-323-262-4430   *Fax:* 1-323-262-4437  
*e-mail:* info@rkina.org   <http://www.rkina.org>

## Branch under RKINA

### Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way,  
WA 98003 U.S.A.  
*Tel:* 1-253-945-0024   *Fax:* 1-253-945-0261  
*e-mail:* rkseattlewashington@gmail.com  
<http://buddhistlearningcenter.org/>

### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, U.S.A.  
P.O. Box 692148, San Antonio, TX78269, USA  
*Tel:* 1-210-561-7991   *Fax:* 1-210-696-7745  
*e-mail:* dharmasanantonio@gmail.com  
<http://www.rkina.org/sanantonio.html>

### Rissho Kosei-kai of Tampa Bay

2470 Nursery Road, Clearwater, FL 33764, U.S.A.  
*Tel:* (727) 560-2927   *e-mail:* rktampabay@yahoo.com  
<http://www.buddhismtampabay.org/>

### Rissho Kosei-kai of Vancouver

**Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii**  
2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, U.S.A.  
*Tel:* 1-808-455-3212   *Fax:* 1-808-455-4633  
*e-mail:* info@rkhawaii.org   <http://www.rkhawaii.org>

### Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, U.S.A.  
*Tel:* 1-808-242-6175   *Fax:* 1-808-244-4625

### Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona,  
HI 96740 U.S.A.  
*Tel:* 1-808-325-0015   *Fax:* 1-808-333-5537

### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, U.S.A.  
*Tel:* 1-323-269-4741   *Fax:* 1-323-269-4567  
*e-mail:* rk-la@sbcglobal.net   <http://www.rkina.org/losangeles.html>

### Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado  
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego  
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas  
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

### Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, U.S.A.  
*Tel:* 1-650-359-6951   *Fax:* 1-650-359-6437  
*e-mail:* info@rksf.org   <http://www.rksf.org>

### Rissho Kosei-kai of Sacramento

Rissho Kosei-kai of San Jose

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016 U.S.A.  
*Tel:* 1-212-867-5677   *Fax:* 1-212-697-6499  
*e-mail:* rkny39@gmail.com   <http://rk-ny.org/>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056 U.S.A.  
*Tel :* 1-773-842-5654   *e-mail:* murakami4838@aol.com  
<http://home.earthlink.net/~rkchi/>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

<http://www.rkftmyersbuddhism.org/>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th Street, Oklahoma City, OK 73112 U.S.A.  
*Tel & Fax:* 1-405-943-5030  
*e-mail:* rkokdc@gmail.com   <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai, Dharma Center of Denver

1255 Galapago Street, #809 Denver, CO 80204 U.S.A.  
*Tel:* 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

425 Patterson Road, Dayton, OH 45419 U.S.A.  
<http://www.rkina-dayton.com/>

## Risho Kossei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP,  
CEP 04116-060 Brasil  
*Tel:* 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377  
*Fax:* 55-11-5549-4304  
*e-mail:* risho@terra.com.br   <http://www.rkk.org.br>

## Risho Kossei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP,  
CEP 08730-000 Brasil  
*Tel:* 55-11-5549-4446 / 55-11-5573-8377

## Rissho Kosei-kai of Taipei

4F, No. 10 Hengyang Road, Jhongjheng District,  
Taipei City 100 Taiwan  
*Tel:* 886-2-2381-1632   *Fax:* 886-2-2331-3433  
<http://kosei-kai.blogspot.com/>

## Rissho Kosei-kai of Taichung

**Rissho Kosei-kai of Tainan**  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District,  
Tainan City 701 Taiwan  
*Tel:* 886-6-289-1478   *Fax:* 886-6-289-1488

## Rissho Kosei-kai of Pingtung

**Korean Rissho Kosei-kai**  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
*Tel:* 82-2-796-5571   *Fax:* 82-2-796-1696  
*e-mail:* krkk1125@hotmail.com

## Korean Rissho Kosei-kai of Busan

3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
*Tel:* 82-51-643-5571   *Fax:* 82-51-643-5572

**Branches under the Headquarters****Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road,  
North Point, Hong Kong, Republic of China

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

15F Express tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia  
*Tel:* 976-70006960    *e-mail:* rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Sakhalin**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk  
693005, Russian Federation  
*Tel & Fax:* 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29-00184 Roma, Italia  
*Tel & Fax :* 39-06-48913949    *e-mail:* roma@rk-euro.org

**Rissho Kosei-kai of the UK**

**Rissho Kosei-kai of Venezia**  
**Rissho Kosei-kai of Paris**

**International Buddhist Congregation (IBC)**

Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo, Japan  
*Tel:* 81-3-5341-1230    *Fax:* 81-3-5341-1224  
*e-mail:* ibcrk@kosei-kai.or.jp    <http://www.ibc-rk.org/>

**Rissho Kosei-kai of South Asia Division**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand  
*Tel:* 66-2-716-8141    *Fax:* 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai International of South Asia (RKISA)**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand  
*Tel:* 66-2-716-8141    *Fax:* 66-2-716-8218  
*e-mail:* thairissho@csloxinfo.com

**Branches under the South Asia Division****Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

224 Site No.1, Shankar Road, New Rajinder Nagar, New Delhi,  
110060, India

**Rissho Kosei-kai of West Delhi**

66D, Sector-6, DDA-Flats, Dwarka, New Delhi 110075, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,  
West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road  
Rumpur, Gaya-823001, Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamasilhel, Sancepa-1, Lalitpur,  
Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

#201E2, St 128, Sangkat Mittapheap, Khan 7 Makara,  
Phnom Penh, Cambodia

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**

**Rissho Kosei-kai of Singapore**

**Thai Rissho Friendship Foundation**

201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang  
Bangkok 10310, Thailand  
*Tel:* 66-2-716-8141    *Fax:* 66-2-716-8218    *e-mail:* info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei-kai of Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
*Tel & Fax:* 880-31-626575

**Rissho Kosei-kai of Dhaka**

House#408/8, Road#7(West), D.O.H.S Baridhara,  
Dhaka Cant.-1206, Bangladesh  
*Tel:* 880-2-8413855

**Rissho Kosei-kai of Mayani**

Mayani(Barua Para), Post Office: Abutorab, Police Station: Mirshari,  
District: Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Patiya**

Patiya, sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Domdama**

Domdama, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Cox's Bazar**

Ume Burmese Market, Main Road Teck Para, Cox'sbazar, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Satbaria**

Satbaria, Hajirpara, Chandanish, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Laksham**

Dupchar (West Para), Bhora Jatgat pur, Laksham, Comilla,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Raozan**

West Raozan, Ramjan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Chendipuni**

Chendipuni, Adhunagor, Lohagara, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai of Ramu****Rissho Kosei Dhamma Foundation, Sri Lanka**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
*Tel:* 94-11-2982406    *Fax:* 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Habarana**

151, Damulla Road, Habarana, Sri Lanka

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa****Other Groups**

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**